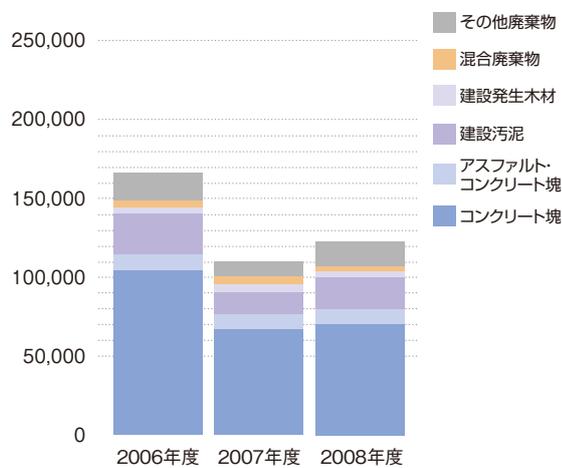


建設廃棄物のリサイクルと再利用

建設廃棄物の発生量

2008年度における建設廃棄物発生量は、12.2万トンで前年度より約0.3万トン増加しています。品目別発生比率は、コンクリート塊が57.8%と最も多く、建設汚泥16.9%、その他廃棄物12.7%、アスファルト・コンクリート塊7.3%、建設発生木材2.9%、混合廃棄物2.4%の順になっています。

建設廃棄物の発生量 (単位:t)



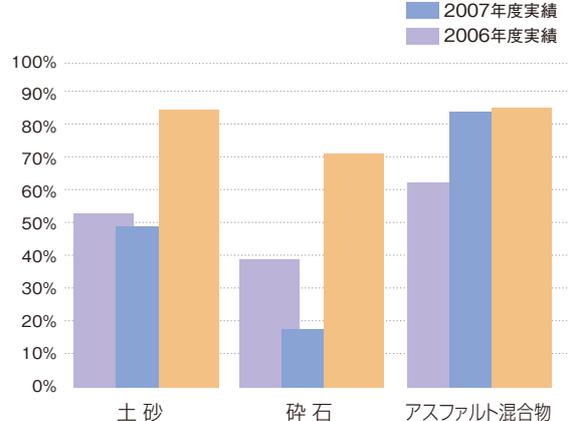
再生資材の利用率

2008年度における建設資材の現場への搬入料は、土砂184.0万m³(93.1万m³)、碎石242.3万トン(53.7万トン)、アスファルト混合物1.0万トン(2.3万トン)でした。

2008年度に搬入した建設資材のうち、再生資源利用率は、土砂84%(49%)、碎石71%(18%)、アスファルト混合物86%(83%)でした。

※()内は2007年度の実績値

再生資材利用率(単位:%)



建設廃棄物のリサイクル率

2008年度における建設廃棄物全体のリサイクル率は94%で、2007年度の92%より2%増加しました。品目別では、コンクリート塊100%、アスファルト・コンクリート塊100%、建設汚泥96%、建設発生木材94%、混合廃棄物67%で、その他の廃棄物は67%でした。リサイクル率では、建設汚泥と混合廃棄物が前年度と比較して向上しています。

リサイクル率(単位:%)

